

帯広市野草園の管理運営

取り組みの概要

帯広市野草園は、市民の散策の地として、また自然観察の場として、昭和33年に開園しました。都心部にある野草園としては全国的にもめずらしいものであり、良好な自然をそのまま保存する形で整備し、園内の自然保護に努めています。

学識経験者等による「帯広市野草園運営委員会」に運営協力を依頼し、開園や閉園等の準備作業や、市民向けのイベントにおいて協力をお願いしており、市民利用の促進に大きな役割を担っていただいています。

協働の きっかけ

貴重な自然を良好に保存していくためには、植物や地形に関する高度な知見が必要でした。当時野草園の所管が教育委員会であったため、植物に詳しい理科教員を中心に組織された運営委員会に、円滑に協力を依頼することができました。

児童会館



帯広市野草園運営委員会

行政としての情報発信・収集力

強み

植物に関する知識が豊富

ホームページ、SNS、ポスター、チラシ等による情報発信

役割

- ・管理運営に対する助言
- ・各種イベントにおける知識の伝達

協働の 成果

双方の強みを生かした協働により、良好な維持管理や観察会などを実施し、身近にある貴重な自然観察や憩いの場を市民の方に提供している。これにより、児童会館の大きな役割である青少年の育成にも寄与している。

協働のポイント

定期的な情報交換と良好なコミュニケーション

